

令和3年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	エネルギーパークかごしま推進事業																																														
補助事業者名	鹿児島県																																														
補助事業の概要	<p>再生可能エネルギー推進委員会の開催、エネルギーマネジメント等による地産地消の検討、将来的な水素利用のビジネスモデル構築の検討等を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー推進委員会事業 再生可能エネルギーに係る自治体担当者会議 次期再生可能エネルギー導入ビジョン骨子作成・WG開催 エネルギーをシェアするまちづくり事業 																																														
総事業費	20,967,338円																																														
補助金充当額	20,967,338円																																														
定量的目標	<p>1 再生可能エネルギー推進委員会事業</p> <p>「再生可能エネルギー導入ビジョン2018」に掲げる再生可能エネルギーの導入目標（2022年度末）を達成する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>目標(2022)</th> <th>対2016比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">発電</td> <td>太陽光</td> <td>2,970,000kW</td> <td>2.20倍</td> </tr> <tr> <td>風力</td> <td>371,000kW</td> <td>1.41倍</td> </tr> <tr> <td>水力</td> <td>277,000kW</td> <td>1.06倍</td> </tr> <tr> <td>うち小水力</td> <td>25,890kW</td> <td>2.44倍</td> </tr> <tr> <td>地熱</td> <td>71,000kW</td> <td>1.15倍</td> </tr> <tr> <td>うちバイナリー</td> <td>10,900kW</td> <td>6.90倍</td> </tr> <tr> <td>バイオマス</td> <td>228,000kW</td> <td>2.53倍</td> </tr> <tr> <td>海洋エネルギー</td> <td>数例作る</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">熱利用</td> <td>太陽熱</td> <td>44,000kL</td> <td>1.01倍</td> </tr> <tr> <td>バイオマス熱</td> <td>168,000kL</td> <td>1.56倍</td> </tr> <tr> <td>温泉熱</td> <td>事例を増やす</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>地中熱</td> <td>300kL</td> <td>1.59倍</td> </tr> <tr> <td>燃料製造</td> <td>バイオマス燃料製造</td> <td>500kL</td> <td>2.79倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 水素エネルギー利用促進事業</p> <p>本事業において、官民連携での水素利用（導入）に向けた検討や、水素需要の創出または産業化に向けた取組などの事業化に向けた支援を行うことにより、県内の新産業の創出や、地域活性化を実現する。</p> <p>さらに、再生可能エネルギー由来水素のサプライチェーン構築の検討を行うことで、再エネの調整力としての水素エネルギー</p>	区分		目標(2022)	対2016比	発電	太陽光	2,970,000kW	2.20倍	風力	371,000kW	1.41倍	水力	277,000kW	1.06倍	うち小水力	25,890kW	2.44倍	地熱	71,000kW	1.15倍	うちバイナリー	10,900kW	6.90倍	バイオマス	228,000kW	2.53倍	海洋エネルギー	数例作る	—	熱利用	太陽熱	44,000kL	1.01倍	バイオマス熱	168,000kL	1.56倍	温泉熱	事例を増やす	—	地中熱	300kL	1.59倍	燃料製造	バイオマス燃料製造	500kL	2.79倍
区分		目標(2022)	対2016比																																												
発電	太陽光	2,970,000kW	2.20倍																																												
	風力	371,000kW	1.41倍																																												
	水力	277,000kW	1.06倍																																												
	うち小水力	25,890kW	2.44倍																																												
	地熱	71,000kW	1.15倍																																												
	うちバイナリー	10,900kW	6.90倍																																												
	バイオマス	228,000kW	2.53倍																																												
	海洋エネルギー	数例作る	—																																												
熱利用	太陽熱	44,000kL	1.01倍																																												
	バイオマス熱	168,000kL	1.56倍																																												
	温泉熱	事例を増やす	—																																												
	地中熱	300kL	1.59倍																																												
燃料製造	バイオマス燃料製造	500kL	2.79倍																																												

	<p>一の普及拡大が図られる。</p> <p>水素エネルギーの活用等に取り組む自治体，企業数 現状：0件 → 1件以上</p>	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>1 再生可能エネルギー推進委員会事業 2020年度末時点で目標に対し75.8%の達成率となっている。 2021年度はさつま町バイオマス発電所などが稼働するなど、目標達成に向け再生可能エネルギーの導入が進んでいる。</p> <p>2 水素エネルギー利用促進事業 水素エネルギーの活用等に取り組む自治体，企業数 ：1件以上 実績：先進地視察に参加した4自治体 （瀬戸内町，枕崎市，大崎町，日置市）</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	最新の再エネ導入状況や国の動向，知事のマニフェスト等を踏まえた基礎調査及びその内容等を検討するWGを実施し，令和4年度に改定予定の新たな再生可能エネルギー導入ビジョンの骨子を作成する。
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社 建設技術研究所 鹿児島事務所
	契約金額（間接補助金額）	19,987,000円
来年度以降の事業見通し	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿児島県の特性を生かしたビジョンの具体化 ○ 情勢変化や地域ポテンシャルに応じた新ビジョンの具体化 ○ ビジョン共有のための情勢基盤の構築 ○ 離島における再生エネ導入推進 	

（備考）

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。